

令和6年度実施の文化推進事業助成対象事業 (令和5年度決定事業) の評価結果

【総合評価】

- 1 令和5年度に助成決定した「文化創造・発信事業4件」及び「文化団体活動4件」については、令和6年度中におおむね事業計画どおりに実施され、当初の事業目的を達成できたものと認められる。
- 2 文化創造・発信事業の事業者は、中央区文化推進事業助成審査会（以下「審査会」という。）が招集した中間報告会（令和6年7月開催）及び最終評価報告会（令和7年4月開催）に出席し、実施状況等をつぶさに報告した。その際、審査会委員の専門的な助言については、その後の事業の運営や展開に意欲的に活用する姿勢を示していた。
- 3 文化創造・発信事業4件は、いずれも中央区らしさを有する地域に根ざした文化事業であり、中央区の伝統工芸の発展や新しい文化の創造・発信につながることが期待できる内容である。

また、4件の文化団体の活動は、地域に根づく芸術文化活動を長年にわたり展開・発信している。

以上、どちらについても本助成制度を活用することで、区内文化の振興に貢献したものと認められる。

今後とも、これらの事業及び活動を継続し、さらなる発展を遂げるためには、区内の他の関係団体や文化事業者と連携を図るとともに、後継者やスタッフの人材育成、活動財源の安定的確保などにも引き続き取り組んでいくことが必要である。

【各事業の成果】

- 1 文化創造・発信事業助成 4件

「江戸で養蚕」PJ区内小学生向け動画と体験で伝える養蚕・組紐の伝統工芸 産業

伝統工芸である「養蚕・絹文化」を守り、継承するため、区内小学校で養蚕から組紐までの体験授業を継続的に実施し、それをコンテンツにまとめ、広く発信することができた。

日本橋小学校と山梨県南アルプス市立豊小学校がオンライン授業でお互いの養蚕体験を語り合い、交流できた。

養蚕・製糸・組紐の体験は、子どもたちにとっても、保護者など大人にとっても貴重な経験となり、「養蚕・絹文化」の継承につながる取組となった。

～オペラってどんなもんじゃ！？～

アフターコロナ時代に生のオペラコンサートを企画し、区内で激減していた歌う機会、見る機会を提供することができた。

また、区民参加オペラが存在しない中央区で、区内在住・在勤・在学者限定で合唱団員を公募するなど、区内のプロ・アマチュアの音楽を愛する者が集い、舞台を作り上げ披露する機会を提供することができた。

宮田大「Dai-Versity」第3回～舞踊と伝統～

中央区からクラシック音楽と和楽器、さらには和洋の舞踊を融合させ、広く区民が楽しめるよう新しい公演を、創作・発信した。

音楽に興味を持っている子どもたちが、ホールで本格的な公演を楽しむことで、興味を発展向上できるように努めた。

中央区のみなさんと「レトロ銀座系」という新しい音楽ジャンルを共創する

「中央区民と一緒に文化芸術を生み出すことを目指し、日本と世界に文化の街“銀座”を広く発信すること」をテーマに、楽曲を区民参加型で制作した。

懐かしさを感じるようなミュージックビデオを作成し、YouTube配信したところ、想像以上の反響があり、国内のみならずインドネシアやタイなどの諸外国を含め、8万4千回の視聴があった。

2 文化団体活動助成 4件

心と声をあわせて －中央区第九記念合唱団の活動を通して－

「暮れの第九」発祥の地といわれている中央区。その歴史を踏まえ、区民参加による歌舞伎座公演を目指して、平成19年に設立された団体である。その後晴海トリトンスクエアで、区内在住・在勤者等による三世代参加型の合唱団として、毎年無料公演

を実施している。例年の演奏会のほか、令和6年12月29日には、地域の結びつきを強めたいという中央区第九記念合唱団と三越百貨店の意向が合致して、三越劇場での第九出演が実現した。

ふるさとの文化を育む「新富座こども歌舞伎」

江戸歌舞伎にゆかりの深い中央区ならではの取組みである。地域の人たちと企業の協力のもと、子どもたちが歌舞伎の稽古を重ね、地元神社の例大祭に合わせて公演を行っている。地域密着型の稽古と公演をとおして、古典芸能への区民の関心を高めるとともに、こども歌舞伎をふるさとの伝統文化として根づかせ、継承していくことに努めている。

中央区交響楽団創立30周年記念演奏会・2024冬のコンサート

地域に根ざしたアマチュア・オーケストラとして区内の音楽ホールで定期的にコンサート等を開催している団体である。常に新たな団員を募集しながら、年2回コンサートを開催している。演奏会では未就学児も入場可能とするほか、平成30年の冬のコンサートから入場料を負担のしやすい寄付制にするなど、次世代を含めた幅広い年齢層の方が気軽にクラシック音楽を楽しめる機会づくりに努めている。

未来へつなげる浜町音頭～あなたも私も輪になって、子供も大人も一緒に踊ろう！～

浜町音頭は、関東大震災の復興事業による浜町公園の竣工（昭和4年）を記念して誕生した音頭である。

初心者向けの踊りのワークショップと総踊りを実施し、参加者間の交流を深め、地域の活性化に寄与できた。

【中央区文化推進事業助成審査会委員】

委員長 大西珠枝

委員 陣内秀信、四ノ原恒憲、鈴木順子、新治 満